

題材名『板を切りぬいて～パズルドミノをつくろう～』

(6時間)

【題材について】 ※PR文「みんなでドミノたおし！楽しく遊んでみんなで作りだす喜びを!!」

本題材は、電動糸のこぎりを使って1枚の板を思い通りの形に切りぬき、パズルドミノをつくることを通して、形や色、材料の特徴や用途を考えながら表し方を構想する力を育てることをねらいとしている。硬い板材を、直線や曲線で切り抜くことができる電動糸のこぎりを使って、つくりたい形を表せることに感動し、楽しみながら活動を進めることができる。また、自分のつくったドミノだけでなく、友達のドミノと合わせて遊ぶことで、つくったもので遊ぶ楽しさを存分に味わうことができる。

【題材のめあて】

- ◎ ドミノたおしができるパズルを、1枚の板材を生かして楽しみながらつくる活動に取り組む。
- ◎ ドミノのピースとして一つ一つが立つ面白い形を思いつき、それぞれの色を考える。
- ◎ 安全に電動糸のこぎりを使いながら、板材の切り方を工夫する。
- ◎ 自分や友達がつくった作品でドミノたおしやパズル遊びをしながら、互いの表現のよさを感じ取る。

学習の展開（全6時間）

学 習 活 動	教 師 の 支 援（☆個別支援アイテム）
1 題材と出会い、めあてを確認する。	・ 参考作品を提示し、ドミノたおしをしたり、パズルのように各ピースを1枚の板に組み合わせたりして、つくり方の仕組みが分かるようにする。
2 板の辺をうまく使って、立たせやすい形を考えて、デザインを考える。	・ 「みんなでドミノで遊ぼう」と目的意識を持たせ、意欲を高める。
3 電動糸のこぎりの使い方を学習し、デザインに合わせて板を切る。	・ 電動糸のこぎりの使用法を指導し、安全に留意して扱うことができるようにする。
4 水加減に気をつけて、絵の具で色をつける。	・ 着色の仕方、絵の具の水加減について、指導する。
5 みんなでドミノたおしを楽しむ。	・ 作品ができた児童から、ドミノたおしをしながら、自由に鑑賞できるよう、場の工夫をしておく。

【成果と課題】・・・ヒット題材にするためには？

ドミノにするのに各ピースの数が少なくなり、電動糸のこぎりでの切り抜く回数が減ってしまった。もっと経験させたい。7月は野外活動やプール指導などと重なり、図工の時間があまりとれず、最後のドミノたおしをする時間が十分とれなかった。遊ぶもの以外にも、ドアプレートや表札など生活に役立つものをつくるという題材にすれば、つくった作品が生活の中でも活用でき、意欲も高まったのではないかと思った。

写真 ※時間がなく、ドミノ倒しができませんでした。イメージでは、こんな感じです。（右：教科書の写真）

